八基連だより

７月号　　第２７５号

発行日　　平成２６年７月１日（火）
発行所　　八王子囲碁連盟
住　所　　八王子市東浅川町５６７－１－３０９
電　話　　０４２－６６３－５４４６
発行者　　南　正一郎
編集者　　松崎　邦夫

八王子千人同心屋敷跡碑（追分）

http://homepage3.nifty.com/yasu1120/hatigoren.html/

八王子囲碁連盟の目的

八基連は、八王子市内に居住する囲碁愛好者が、囲碁を通じて親睦を図り、かつ、健康を維持できるよう機会を提供し、福祉の増進に寄与するとともに、棋力の向上を図ることを目的とする。

恩方囲碁同好会よ永遠に

恩方囲碁同好会会長　　吉澤　實

先日、１０年後に八王子囲碁連盟の会員が２００名位になるという予想のデータを見て驚いた。現在会員の高齢化が進み、７５歳以上の会員が２００名を超える現実からも大変心配である。そんな流れに、少しでも抵抗できるいい手段はないかと考えてみたい。

とりあえず、一番大切なことは現在の会員が楽しく碁が楽しめることだと考え恩方囲碁同好会の日ごろの活動を追って見た。

わが同好会は、日曜日は恩方市民センターで例会を午後半日行っている。水曜日は会場を変え農業改善センターである。週２回というのにどちらも２０名を超える盛況である。こんなに会が和やかに、そして楽しく続いていく理由に気が付いたことがある。

役員や、幹事が自分の役割以上のことを淡々とこなしていることである。何年も会場を取り続けてくれる人、会場の設定をしてくれる人、そして帰るときには必ずトイレの掃除をしてくれる人、競技委員を頼むと嫌な顔一つせず引き受けてくれる人。それぞれが協力を惜しまずにこなしてくれている。

今一つ、高段者でありながら、ひたすら級位者や低段者を指導してくれる人、自分が級位者の時に「根気よく教えてもらった恩返しに」という気持ちから低段者や級位者に教えてくれている人もいる。これは恩方の豊かな自然あふれる美しい景観の中で暮らしていると人々の心がこんなにも優しくなれるのだろう。

現在、級位者、有段者に限らず会員全員がもっと強くなったら楽しさも倍加すると思い、今年４月から月一回の研修会を発足させた。幹事全員の協力はもちろん、会員も指導に回る高段者も元気に参加してくれている。もちろん会員を増やす努力も続けていきたい。

さて、私ごとになるが、４月に義母を亡くした。１００歳という大往生であった。あと２か月で満１０１歳ということもあり、お坊さんは過去帳にも、墓碑にも１０１歳と記帳するという。２２年間も一緒に暮ら

していたので、朝、夕、お線香をあげると気持ちが落ち着く。「長生きも芸のうち」といわれるが７５歳という自分の歳を考えると、まだまだ囲碁でいえば中盤戦、大ヨセも先の話、これからも大いに囲碁を楽しもうと思っている。

第２４回　活きいき囲碁大会のご案内

由木・南大沢大会

日時　　平成２６年８月３１日（日）受付　午前９時00分～9時30分
会場　　由木中央市民センター（下柚木 2-10-6　Tel　676-8123）
申込先　　南大沢会長・中森久隆　　鑓水 2-81-2-1-207
　Tel・Fax　670-0153　　メール　h-nakamo35@link.nir.jp
申込期限　８月１７日

主催　　由木囲碁同好会・南大沢囲碁同好会
後援　　日本棋院　八王子市　八王子市教育委員会
参加資格　市内に居住している10級以上の囲碁愛好者
参加費　　１，０００円（弁当代を含む）非会員　１，１００円
競技方法　クラス別に行い、入賞者には賞品を進呈します。
申込方法　同好会の会長を通して申し込んでください。

第２４回　活きいき囲碁大会の結果

元八王子

５月２５日（日）　於元八王子市民センター
参加者

浅川	恩方	元八	中野	大和田	石川	台町	由木	北野	長房	川口	南大沢	非会員	合計
１	１１	１７	３	７	１	２	０	１	１０	４	１	０	５８

A組２０名（４段～７段）
優勝：中邑 豊　恩方/７段　　準優勝：三浦和夫　元八/５段　３位：徳満英世　恩方/５段
B組　１８名（２段～４段）
優勝：秋山 正　恩方/２段→３段　準優勝：平山 統　元八/３段　３位：小山忠孝　元八/４段
C組　２０名（５級～初段）
優勝：中川寿夫　大和田/初段→２段　準優勝：小澤敦司　恩方/３級　３位：荒畑昭一　川口/２級

中野

６月８日(日)　於中野市民センター

参加者

浅川	恩方	元八	中野	大和田	石川	台町	由木	北野	長房	川口	南大沢	非会員	合計
４	７	７	１４	６	３	２	０	５	５	４	２	１	６０

A組　１８名（5段～7段）

優勝：柳 豊太郎　非会員/７段　　準優勝：古賀照也　北野/６段　３位：吉田信夫　台町/６段

B組　２４名（2段～4段）

優勝：庄司則幸　元八/４段→5段　準優勝：下山恒夫　中野/２段　３位：森本康男　中野/４段

C組　１９名（5級～2段）

優勝：小川 勝　大和田/初段→２段　準優勝：根本 清　大和田/２段　３位：高橋俊夫　大和田/１級

7月の活きいき囲碁大会（6月号掲載）

石川大会　　7月２０日（日）　　申し込み　7月６日（日）まで

投稿　　囲碁の普及に３０年

日本棋院普及指導員　倉内　滿

私の囲碁歴は５７年、指導者としての活動歴は３０年、現在は１０年前から始めた囲碁将棋センターを経営、内容は囲碁将棋サロンと囲碁教室の営業です。

普及活動の一貫で囲碁入門講座は３０年で約２０００名、継続的に指導してきた教室や同好会も３０年で約３０００名位になります。講座や教室の回数は月に２０回、年に２５０回、３０年間では７０００回以上になるでしょう、その合間を縫って現在も小中学校や学童保育所、児童館等に囲碁を学校教育の中に取り入れてもらおうと普及活動を行っております。

１年前から関わりが出来た八王子囲碁連盟と連携し小中学校の中に囲碁部、囲碁クラブ、放課後教室、ふれあい講座、体験教室など名称は違いますが、導入される学校も着々と増えております。

八王子囲碁連盟の案内人の同士と数年後には八王子市の全小中学校に囲碁が導入される日が実現できるよう頑張りましょう。

投稿　　傘寿の碁

北野囲碁同好会　刀根正樹

『おお傘寿　碁を打つ日々や　走馬灯』

今年は生涯待ちわびた天恵の年というべきか、病と死におののく老衰の末期というべきか。とにかく８月の誕生日には、傘寿８０歳を迎える。ああ傘寿。その言葉はズシリと胸に響く。地平線に神秘的に浮かぶ白い峰のように、若い頃からのあこがれであった。この私がたどりつけるとは信じられなかった。

老衰のせいか、書斎でテレビを見ながらよく居眠りをする。病死した親友が夢に現れ、笑いかける。『三途の川を渡って、ここに来いや。楽しい遊びが待っている』野太い女の声も聞こえた。『さあおいで。かわいがってあげる』顔をしかめて私は答える。『もう少し生きたい。囲碁の道がまだ残る。傘寿の碁をつかみたい』目がさめると、あたりに友人と女の気配がただよう。

紅茶をすすりながら私は考える。『傘寿の碁とはなんぞや。８０歳を過ぎ、思考力もボケ、目も弱くポカも多くなる、ほかの娯楽に走る老人もいる。傘寿とはそろそろ碁を卒業せよという天の声か』あの女の声には恐ろしい想い出が残る。小学校３年の冬、太平洋戦争の神戸大空襲の日。火の海の中を逃げまどう私は、体格のよい中年女性に呼びとめられた。ふくよかな頬、太い眉。大きな目が微笑していた。『君はここではまだ死なないよ。これから長い苦難の人生が待っている』彼女の言葉通り、私は人生を長く漂流し、海や山の死地や重い病床で、彼女の気配を感じていた。『あの女は死神らしい』と私は思っていた。周囲ではさまざまな死が、あわただしく流れて行った。最近私は腎臓病に倒れた。サラリーマン生活から足を洗い、病院に通う生活である。

次の日曜日に北野娯楽連の会場に行き、碁友に「傘寿の碁」の話をしたが、誰も興味を示さなかった。北野会には８０歳以上の高齢者が１８人もいる。『傘寿など子供の使いさ』と冷笑された。碁を数局打ったが、どれもひどい敗け方をした。『君はゾンビの顔をしている。これは妄執の碁だ』と碁敵はいい、『戦国の修羅の地獄図、それが碁の本質さ』と私に教えた。

『老いの日々　われを支えよ　傘寿の碁』

『火の鳥よ　不死の生命を　わが囲碁に』

２月にソチ冬季オリンピックが始まった。開会式、グラマー美人歌手のオリンピック賛歌に続き、聖火の点火である。ロシア作曲家ストラビンスキーの火の鳥が流れて、夜空に赤い花火が羽ばたく。男子フィギュア、町田選手が炎の衣をまとい、火の鳥の曲を舞う。羽生は東日本大震災の廃墟の仙台スケート場から、不死鳥と化して舞い上がり、金メダルをつかんだ。

競技は深夜の放送で、私は時間待ちの間に、ビデオ映画「戦争と平和」を観賞していた。原作はトルストイ。ヒロインのナターシャをオードリーヘップバーン。その恋人ピエールはヘンリーフオンダの主演である。二人はナポレオン戦争の侵略の津波に押し流される。苦難の末にモスクワの荒廃した屋敷にもどったナターシャの前に、戦場で命がけの遍歴をしたピエールが現れる。交響曲火の鳥が高らかに鳴り響き、トルストイのメッセージが画面に浮上した。

『生命がすべてである。生命は神なりき。生命を愛することは、神を愛することである』

その時私は「傘寿の碁」の本質を覚ったのである。８０歳になる時、生命が肝要なのは当然。そして私には愛すべき囲碁がまだ残っていた。囲碁を純粋に愛することは生命を愛すること、神を愛することになるのであろう。碁友をいつくしみ、詰碁や手筋の本を読みかえす時にも、わき出でる喜びを感じられる。

その翌日、男子ジャンプで、４１歳の葛西が銀メダルを得た。４１歳、オリンピック７度目で初めてのメダルである。レヂエンド（伝説）と呼ばれた男は、不敵に笑った。『私はジャンプを愛している。この次も、またその次も挑戦する』とうそぶいた。

『菜の花の　咲きあふれたり　傘寿の碁』

『梅咲くや　生命燃やして　傘寿の碁』

◎会長会開催

地区同好会の会長さんの生の声を聞いて今後の取り組みに生かしたい。ということで「会長会」を開催しました。

日　時　　平成２６年5月２９日（木）１５：００～１７：００

出席者　　地区会長１１名、理事５名（井出理事、望月理事は会長と重複）　計１４名

議　　事　１、総会で提起された事項については下記のようになりました。

・名　人　戦：地区優勝者が欠席の場合には準優勝者が代わりに参加する。
（王座、天狗と同じになります）

・名人選出法：名人の選出方法は、地区同好会に一任する。

・タイトル戦：２，３位にも賞品を出す（昨年度までは１位のみ）。従って３位決定戦を実施することになります。

・市民大会：Ｓクラス（７段以上）は握り。
八碁連会員は八碁連の段級位で出場する。

２、活きいき大会

・８月３日中止になった台町大会は１２月中旬に実施予定

・来年度の大会は暑い７、８月を避けて計画を作る。

３、会員を増やす取り組み（情報交換のみ）

八碁連会員約４００名のうち約半数が７５歳以上、これが現在の状況。このまま推移すると１０年後は会員が半減する。会員増を計らなければいけない。これは各同好会の日頃の取り組みが基本であり、会員数が右肩上がりの恩方と長房の会長さんに現状を話してもらい、参考にして頂くとともに、他地区の会長さんの意見も聞いた。

依頼事項　・山縣会長（昨年度八碁連理事）より昨年度末までの「年度別優勝者」・「７段優勝記録」の一覧表の説明があり、本人（７段の方）に確認してほしいと各同好会の会長さんに依頼。

（８段昇段資格を知るためには過去の７段優勝回数把握が必要となります）

＊５時以降懇親会。初めての試みでしたが好評でした。コミュニケ―ションがよくなることを期待。出席者１２名。

日本棋院八碁連支部コーナー

第２回八碁連支部役員会を５月３１日（土）東浅川福祉保健センターで行い、南正一郎、水野義嗣、望月成一（記録）３氏で本年度事業計画を一歩進めた具体案を協議。

１、交流・親睦囲碁大会の実施

・対戦相手：調布囲碁支部

・時　　期：９月

・会　　場：八王子に相応しい会場

・人　　数：７～８名のチーム編成

２、八碁連級位者囲碁大会―級位認定大会―

・参加資格：八碁連会員及び非会員の級位者クラスの方を幅広く募集

・時　　期：１０月

・特　　典：大会の成績優秀な方に日本棋院発行の認定状を授与

３、日本棋院ファン感謝囲碁祭りは先（１1/２２予定）の行事故競技は先送り

尚、今年は日本棋院創立９０周年を迎えるに際し、７月３１日までに新規に入会されますと、素晴らしい特典がありますので、お待ちしております。詳しくは、望月まで連絡ください。（TEL663-9758）

また、当支部の幹事・会計を担当して頂いた水野義嗣氏が都合で退任されます。ご苦労様でした。業務は当面、南、望月で引き継いで行いますので、よろしくお願いします。

◎第４回八碁連理事会

日時　　平成２６年5月２４日（土）９：００～１２：００

出席者　理事６名

議　案　1、各理事の報告事項

２、会長会の準備

・会の進め方　・来季の活きいき大会の設定（執行部案）　・会員獲得案等

３、子ども大会について

４、その他（次回理事会の日程等）

編集後記　　梅雨になりました。田に水が入り蛙の鳴き声が一段とうるさくなってきました。蛙は喜んでいるのでしょうが、人間にとっては蒸し暑く過ごし難い季節です。これから暑くなりますが熱中症が心配です。熱中症は7，８月の発症が多いといわれていますが、梅雨明け後の気温の高い日や梅雨の間でも気温の高い日には救急搬送が増えるそうです。十分に気をつけてください。